

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長職務代理者 むつ市副市長 川西 伸二 殿

隊員氏名 山田 菜生子

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2023年2月分】

1. 実施した活動の概要・状況

2月は大崎隊員主導の「スノー×ライトフェス 2023in 川内」イベントの準備・運営を地域のボランティアの方々と協力しながら行った。また、2月末をもって、2年間の青森県教育委員会委託事業「地域の思いをつなぐ若者育成事業」が終了した。これらの事業を通して生まれた交流は今後も続けていきたい。

〈主な活動〉

○2月5日（日）地域の思いをつなぐ若者育成事業活動成果発表会

青森県総合社会教育センターにて行われた、青森県教育委員会主催「地域の思いをつなぐ若者育成事業活動成果発表会」に活動に参加した高校生3名と出席し、「川内町の先輩にインタビュー！in むつ市川内町」事業について発表を行った。発表後の質疑応答の時間には、講評者の方々からインタビュー内容や学んだ事について聞かれ、地域の高校生が川内町の魅力を堂々と伝えている様子が印象的だった。発表会では青森県内12の活動団体による発表が行われ、その内容はイベントの企画運営や南部せんべいグッズの開発、秘密結社による街中クリーンアップ計画など多岐にわたっており、参加した高校生も他団体のユニークな活動内容や発表から刺激を受けている様子だった。参加した高校生や地域住民へのアンケートを実施したところ、「活動を続け、魅力を掘り下げてほしい」という声が多かったため、事業終了後も“魅力を掘り下げ、のこす”活動の形を模索していければと思う。



○2月18日（土）スノー×ライトフェス 2023in 川内

「川内町の雪を活かしたい、楽しんでもらいたい」という大崎隊員の想いから企画し実行した雪のイベント。1週間ほど前から地域の方々と協力し準備を行い、当日に向けてイグルーづくりも行った。地域のボランティアの方々と一丸となって作ったイグルーには、来場者の多くが集まり写真を撮ったりして楽しむ様子もうかがえた。イベント当日には約1,200人にお越し頂き、雪の滑り台には行列ができるほど、大盛況のイベントとなった。私は雪灯籠づくりの担当で、子どもだけでなく大人も童心にかえて雪遊びを楽しむ様子を見て、雪遊びイベントの可能性の大きさを体感した。今後も地域の笑顔を作り出せる事業を実施していけたらと思う。



○2月21日（火）～23日（木）福島県会津地域出張

「クラウドファンディングしもきた」制度を利用した3月のクラウドファンディング事業に向け、むつ市の姉妹都市があることでも知られる福島県会津地域へ伺った。本事業では、むつ市のPRキャラクター「ムチュランファミリー」と会津若松地域の民芸品「赤べこ」がコラボすることから両地域に共通するテーマである「天然痘との闘い」「会津藩と斗南藩」について学ぶべく、関連する施設や名所へ足を運んだ。1日目には赤べこ発祥の地である会津柳津町に向かい、赤べこのモデルとされる福満虚空藏菩薩圓藏寺のべこ像を見学。また、柳津町地域おこし協力隊の塚原有希さんから企画展の展示などについて伺うこともできた。2日目は、民芸品工房であり本事業でコラボする野沢民芸さんから民芸品についてのインタビューや赤べこが出来るまでの過程を実際に見せて頂いた。午後には会津若松市内にある飯盛山で白虎隊の悲劇について、会津武家屋敷で会津藩士たちの暮らしについて学んだ。3日目には鶴ヶ城と会津若松市歴史資料センター「まなべこ」を訪れ、戊辰戦争での籠城戦に耐えた鶴ヶ城の歴史や、会津藩を守るために戦った女性たちの有志を知ることが出来た。今回、実際に会津地域を訪れたことで、むつ市とつながりの深い会津地域について身をもって体感することが出来たため、この経験をクラウドファンディング事業へ活かし、むつ市地域おこし協力隊として両地域の親交についてPRしていけたらと思う。



2. 翌月の活動予定

3月は下記の活動に加え、引き続きカマイルカの骨格標本作成作業を行う。

3月3日～27日 ムチュベコクラウドファンディング

3月4日 若手地域づくりプレイヤー交流会

3月13日～15日 長野県泰阜村 NPO 法人グリーンウッド視察